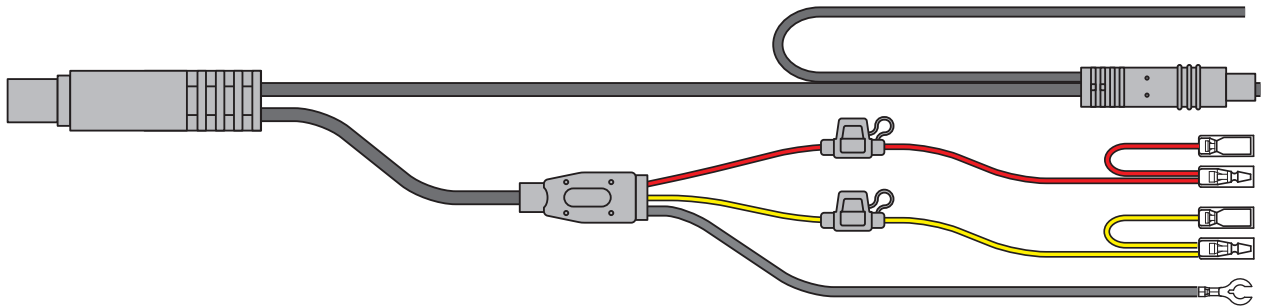
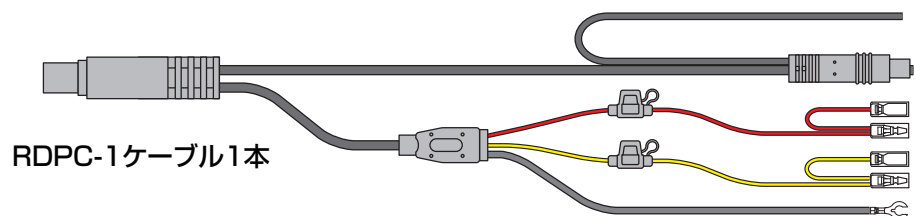


駐車監視録画ケーブル RDPC-1



常時電源ケーブルを使用すると、車両バッテリーの消費電力が多くなりますので、ご注意ください。
また、常時電源ケーブルの接続を誤ると、バッテリー上がりの原因となりますので、ご注意ください。

商品構成



ご注意/接続方法について

<ご注意（あらかじめご了承ください）>

常時電源ケーブルご使用の場合、車両のバッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。

・次の方は、車両バッテリー上がりの原因になりますので、常時電源ケーブルのご使用には十分ご注意ください。

- 毎日走行しない場合。
- 1日の走行時間が1時間以下の場合。
- 車両バッテリーを1年以上使用している場合。

※ 上記はあくまで目安となりますので、バッテリーコンディションを確認するようにしてください。

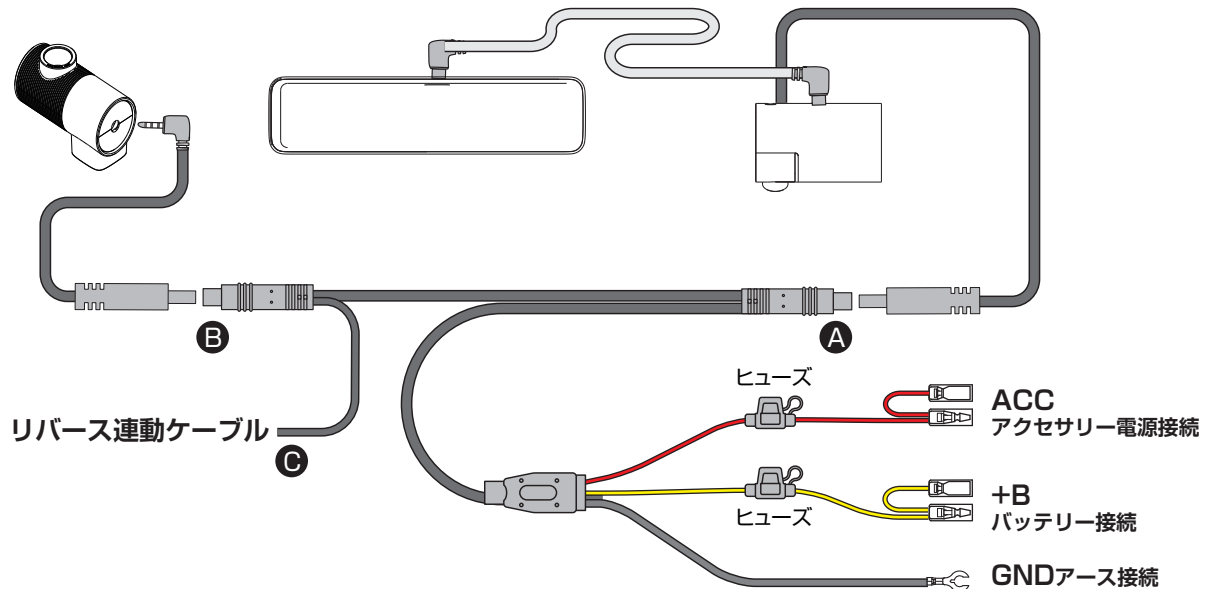
- ・ 本製品を使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負い兼ねます。
- ・ 本製品を使用する際、バッテリーコンディションにより、録画時間(録画回数)が少なくなる場合があります。
- ・ 車両のシステム(ハイブリッドシステムや電気自動車等)によっては、期待した動作にならない場合があります。

各種ケーブルの接続

ドライブレコーダーと本ケーブルを接続します。

接続は以下の通り、各種用途によって差し込み口が異なりますので、ご注意ください。

※各種プラグには向きがあるため、無理に差し込むと破損します。形状を確認して接続してください。



本ケーブルプラグAとフロントカメラユニットを接続します。

車両のリバース信号線(紫線)と本ケーブルC線を接続します。

本ケーブルプラグBとリヤカメラを接続します。

アクセサリの電源線に本ケーブル赤色線を接続、バッテリーの電源線に黄色線を接続
さらに本ケーブルアース黒線を接続します。

常時電源ケーブル接続時の動作について

▶ 駐車監視の設定が[オフ]の場合:

エンジンを停止すると、本機の電源がオフとなります。駐車監視モードには切り替わりません。

▶ 駐車監視の設定が[オン]の場合:

エンジンを停止すると、一度電源がオフとなり、その後、駐車監視モードに自動的に切り替わります。
駐車監視モード中、車両のバッテリー電圧が一定の電圧に低下すると(※)、車両バッテリーからの電源供給を停止し、駐車監視モードは終了します。



常時電源ケーブルを使用すると、車両バッテリーの消費電力が多くなりますので、ご注意ください。
また、常時電源ケーブルの接続を誤ると、バッテリー上がりの原因となりますので、ご注意ください。

バッテリー保護電圧: $12V \pm 0.1V$

バッテリー電圧が保護電圧以下に達し、約20秒経過すると、電源供給を停止します。

※バッテリー保護電圧は製品本体で管理しています

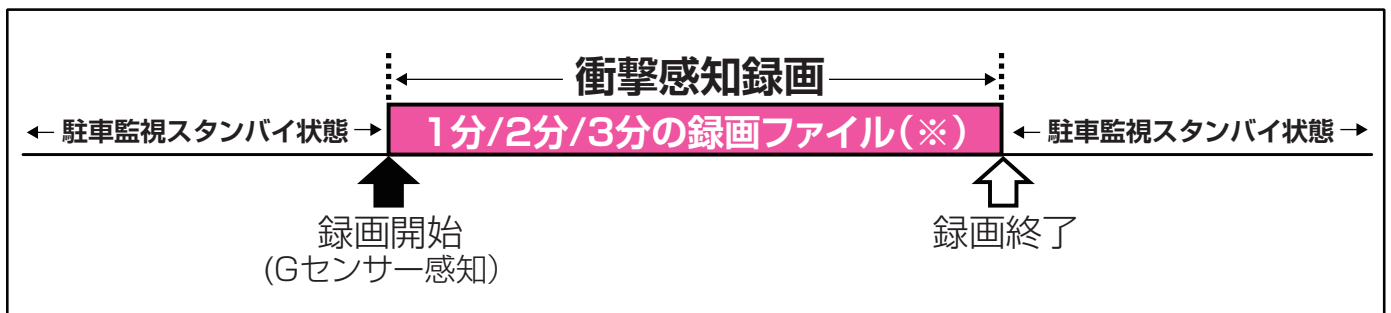
駐車監視録画

▶ 駐車監視モードについて

ドライブレコーダーと本ケーブルを接続することにより、エンジンオフ後の駐車中でも衝撃を感知すると、衝撃感知録画を行う「駐車監視モード」機能が使用できます。

▶ 駐車監視時の衝撃感知録画について

車両エンジンをオフ(ACCオフ)すると、約5秒後に「駐車監視録画スタンバイ」状態となります。駐車監視録画スタンバイ状態中、ドライブレコーダーに搭載されたセンサーが衝撃を感知すると、自動的に衝撃感知録画(駐車監視中の衝撃感知録画)をおこないます。録画終了後は、再び、駐車監視スタンバイ状態に移行します。車両エンジン(ACCオン)すると、ドライブレコーダーの電源がオンとなり、ループ(常時)録画が開始されます。



※駐車監視録画時の録画時間はループ録画設定に依存

▶ 駐車監視設定について

駐車監視録画を行うには、ドライブレコーダー設定メニューの「駐車監視」を「オン」に設定してください。「オフ」の場合は、駐車監視モードに切り替えることが出来ません。

▶ 常時電源ケーブル(本ケーブル)の電源供給について

本ケーブルは車両バッテリー電圧12V(12V車の場合)になると電源供給を止め、駐車監視モードを終了し、電源がオフとなります。

▶ 駐車監視録画中の液晶画面について

駐車録画中は、液晶画面に何も表示されず、ミラー画面状態のままとなります。

駐車監視録画

ご注意

- 駐車監視録画は、ループ録画時間の設定に依存します。例えば、1分を設定している場合は、駐車監視中に衝撃を感知して駐車監視録画を行った場合、1分ファイルが生成されます。
- 駐車監視録画中に再度衝撃を受けた場合であっても録画の延長はされません。
- 駐車監視モード中(駐車監視録画スタンバイ状態および衝撃感知録画中)は、ドライブレコーダーの液晶画面は表示されません。(液晶オフ状態となります)また、各種モードボタンも無効となります。
- 駐車監視録画スタンバイ時に駐車監視状態をオフにしたい場合は、一度エンジンをオンにして、設定メニューで「駐車監視」設定の「オフ」を選択してください。
- ドライブレコーダーの設定メニューで「駐車監視」設定の「オフ」のにするとエンジンをオフしても駐車監視録画スタンバイ状態に移行されません。
- ドア開閉時の振動を検出して、駐車監視録画(衝撃感知)が作動することがあります。
- 衝撃を感知するのはドライブレコーダー本体に搭載されているGセンサーとなります。フロントカメラユニットおよびリアカメラによる衝撃検知の機能は働きません。
- 駐車監視モード時の衝撃感知録画は衝撃を感知してから録画を行います。感知前の録画は存在しません。
- 駐車監視の衝撃感知録画時間は、ループ録画設定で設定した時間に依存します。
- 駐車監視の衝撃感知録画ファイルは「emer」フォルダに保存されます。
- 駐車監視の衝撃感知録画中にエンジンオン(ドライブレコーダー電源オン)した場合は、緊急録画を中断しドライブレコーダー本体が再起動します。駐車監視録画が中断されるまでの録画ファイルは「emer」フォルダに保存されます。
- 衝撃感知のセンサーレベルによっては衝撃感知録画が多くなる場合があります。環境に応じてGセンサーの調整をしてください。
- 本ケーブルを使用の場合、車両のバッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負担がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。
- 次のような方は、車両バッテリー上がりの原因になりますので、本ケーブルの使用は十分注意してください。
 - ▶ 毎日走行しない場合。
 - ▶ 一日の走行が1時間以下の場合。
 - ▶ 車両バッテリーを1年以上使用している場合※上記はあくまで目安となりますので、バッテリーコンディションを確認するようにしてください
- 本ケーブルを使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 駐車監視モードの衝撃感知録画回数はmicroSDカードの空き容量や車両バッテリーのコンディションに依存します。
 - ※常時電源ケーブルを使用する際、バッテリーコンディションにより、駐車監視機能が途中で終了してしまう場合があります
 - ※録画環境などの条件により録画回数や録画ファイル数は変動します

Regeo

販売元：株式会社イノベティブ販売
〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8
<http://www.innovativesale.co.jp/>

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ

048-970-5027 (通話料がかかります)
電話受付時間 平日 9:00~12:00、13:00~17:00
(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ

cs@innovativesale.co.jp